

継続する地域旅客運送サービスについて

1 経緯

令和3年11月22日開催の地域公共交通会議において、両備ホールディングス株式会社が運行中の玉島地区のバス路線の一部について、地域旅客運送サービス継続事業を活用して移動手段の確保を図っていくとの方針が決定しました。

今後は、地域旅客運送サービス継続事業の実施フローに従い、移動手段の確保のために適切な選択肢（路線の起点・終点・経由地、運行形態、運行回数・時間など）の候補を比較検討した上で実施方針を策定し、継続事業者を公募により決定する必要があります。

2 対象路線

(1) 玉島中央町線

運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程
駅線	新倉敷駅	七島	玉島中央町	2.7km

(2) 新倉敷住友重機械線

運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程
住友東	新倉敷駅	堀貫・クレ入口	住友重機西門	5.3km
坂田町	新倉敷駅	堀貫・クレ入口	坂田町	4.6km

(3) ハーバーアイランド線

運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程
ハーバーアイランド	新倉敷駅	クレ入口	ハーバーアイランド 3 工区	9.6km
クレ正門ハーバー 3	新倉敷駅	クレ正門前（新道）	ハーバーアイランド 3 工区	9.8km
クレ入口ハーバー 3	新倉敷駅	クレ入口（新道）	ハーバーアイランド 3 工区	9.4km

(4) 作陽学園・中国能開大線

運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程
中国能開大	新倉敷駅北口	作陽大学正門	中国能開大	2.2km

3 現行の運行回数

路線名	運行系統名	運行回数（回）		
		平日	土曜	日祝
玉島中央町線	駅線	5	3.5	3
新倉敷住友重機械線	住友東	2	2	1
	坂田町	4	2	4
ハーバーアイランド線	ハーバーアイランド	1	0.5	0
	クレ正門ハーバー 3	1	0	0
	クレ入口ハーバー 3	0	0.5	0
作陽学園・中国能開大線	中国能開大	6 (4)	0	0

※運行回数は、1 便（片道）を 0.5 回として算出

路線図



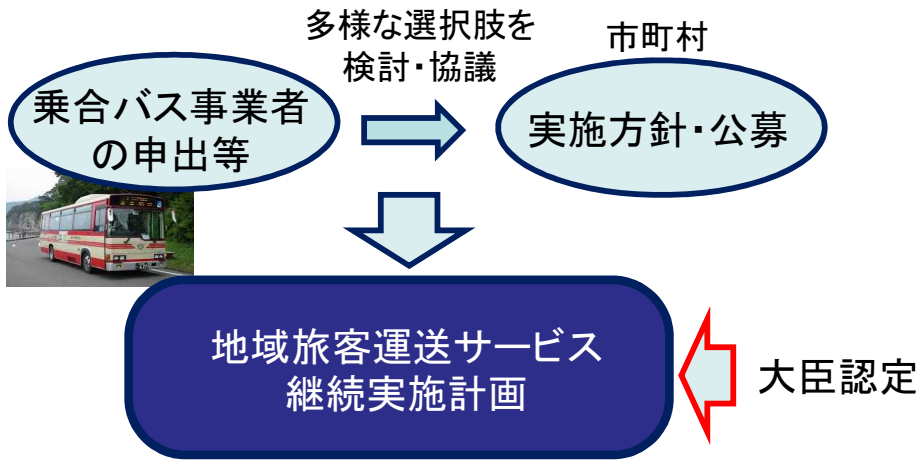
地域旅客運送サービス継続事業に係る補助制度の創設について【新設】



背景・目的

- 生活交通を担う路線バスが廃止される場合、現行法（6ヶ月前までの事前届出）ではサービスの維持について、十分な検討や調整ができず、サービスの廃止や代替となるコミュニティバス等導入による市町村等への負担となっている。
- そこで、廃止を検討する乗合バス事業者の申し出等を受け、関係者がサービス継続のあり方を協議し、公募により代替となるサービスへの転換を図る「地域旅客運送サービス継続事業」について、改正地域公共交通活性化再生法において創設したところであり、同事業の活用によるサービスの継続・効率化を支援。

サービス継続の例



（実施方針に定めるメニュー例）

- ① 乗合バス事業者など他の交通事業者による継続（縮小・変更含む）
- ② コミュニティバスによる継続
- ③ デマンド交通（タクシー車両による乗合運送（区域運行））による継続
- ④ タクシー（乗用事業）による継続
- ⑤ 自家用有償旅客運送による継続
- ⑥ 福祉輸送、スクールバス、病院や商業施設等への送迎サービス等の積極的活用

計画策定

- 【補助対象事業者】地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会
- 【補助対象経費】地域旅客運送サービス継続実施計画策定に必要な経費（協議会開催等事務費、データ収集、短期間の実証調査等）
- 【補助率】1／2（上限500万円）

サービス継続事業に係る運行費補助

- 【補助対象事業者】地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会
 - 【補助対象経費】認定された地域旅客運送サービス継続実施計画に基づく事業の総収支差
 - 【補助率】1／2
- ※タクシー（運賃低廉化）については、市町村からの負担額を補助対象経費とし、100万円を上限として補助。
- ※サービス継続事業の認定を受けた系統については、フィーダー系統に係る運行費補助の要件を一部緩和。

地域旅客運送サービス継続事業の実施フロー（路線バス等の維持が困難である場合のイメージ）

